

春日区 地域協議会だより

No.52

令和8年2月発行
発行：春日区地域協議会



春日区地域協議会事務局

上越市地域政策課 中部まちづくりセンター

所在地：上越市木田 1-1-3（市役所第二庁舎2階）

電話：025-526-1690 ／ FAX：025-520-5852

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

「地域協議会だより」は、協議会委員の活動状況をお知らせするため、年3、4回発行しています。



地域協議会の活動状況



「たより」のバックナンバー

▶ 地域協議会

自主的な審議 春日区の審議テーマ名称を決定しました

新年のご挨拶を申し上げます



昨年は夏の水不足、その後の豪雨による浸水といった自然災害がありました。このことは個々の備えの大切さを実感するとともに、助け合いのコミュニティの重要さも考えさせられる出来事だったと感じています。

春日区内には小学校2校、中学校、大学があり、子ども達が大勢いる日々が当たり前になっています。しかし、子ども達の進学、就職による市外流出など、いずれ春日区にも大きく影響してくると考えております。

このようなことから、春日区地域協議会では、子ども達が地域に愛着を持ち続けるにはどうしたらよいか、人と人がいつまでもつながってコミュニティを維持していくにはどうしたらよいか、という2つのテーマについて今後話し合うこととしました。地域の皆様からも、ご指導、ご鞭撻くださいますよう、本年もよろしくお願ひいたします。



春日区地域協議会 会長 田中裕子



自主的な審議 春日区の審議テーマ名称を決定しました

○自主的な審議とは？

委員が自らテーマを決めて、地域の活性化や課題の解決に向けて話し合うことです。

春日区では、現在は直面していないものの、将来の課題となり得る次の2つの事項について、審議テーマの名称と取組の方向性を整理し、協議を進めています。

テーマ① 子どもたちが愛着を持てる春日～春日愛の継承～

市内で地域自治区の人口を比較した際、春日区では、現在は子どもの人数が多いが、将来的に少子化が進行していくことを見据え、**子どもたちが春日地域に愛着を持ち、長くかかわることができるよう、取り組む。**

テーマ② 誰もが誰かとつながっている春日～春日流儀～

現在、人口の多い春日区でも、将来の高齢化や組織の役員の確保、空き家管理の心配など様々な懸念がある中、それらを解消するための**助け合いのコミュニティを維持すべく、人と人がいつまでもつながっていられるよう、取り組む。**

具体的な解決策について取り組むべく、春日区として継承していきたい物や事、誰もがつながれる機会などについて、委員同士で協議の参考となる資料や資材を持ち寄り、実際に体験して検証しました。

e スポーツならぬ、誰でもできる(@)asy
スポーツとして、家庭用ゲーム機でボウリングなどにチャレンジしました。オンラインでつなげれば、同居していない家族とも楽しめます。 ▶



子どもから高齢者までを対象に「だれもが、いつでも、どこでも、いつまでも、気軽に自由に楽しめる」スポーツとして普及しているニュースポーツ。今回体験した「ラダーゲッター」もその一つです。 ▶



◀ 「上越ふるさとかるた」「春日村歌」「春日山節」などを持ち寄り、懐かしみながら触れる機会もありました。

